

鯉淵みらい通信 No.2

みらい基金プロジェクトに関するお知らせ

○これからの農業はスマート農業？ それ鯉淵がやる！

みらい基金プロジェクトでは**スマート農業(ICTを活用した農業)の開発**を進めています。スマート農業とはロボットや ICT(情報通信技術)、AI(人工知能)を活用して**労力の削減、生産物の品質向上を可能**にする最先端の農業のことです。

○どうしてスマート農業が進められているの？

日本の農業は、**高齢化が進み、あとを継いでくれる人も少ない**ので**畑や田んぼの管理をするのが大変**です。さらに農業をしっかり覚えるようになるには長年の経験や技術が必要なため、未経験者にはハードルが高いという問題があります。しかし、スマート農業を取り入れることで**労働の省力化、データ化、分析ができる**ようになります。

○スマート農業ができること

ロボットの導入:人手不足問題、身体への負担削減を解決します。

ICT 導入:作業内容をデータ化、分析ができるようになり、農業の経験がなくても農業に必要なポイントを知ることができます。

○みらい基金プロジェクトが活動しているスマート農業とは？

草刈りロボットの開発

栗畑の草刈りを自動運転で行います。草を刈るルートはソフトウェアで設定します。障害物や人を感知する技術、刈る労力などの開発を農家さんと一緒に進めています。この夏はロボットを使ってどんどん草刈りをしていきます。

畑アシスト

畑にセンサーを設置して気温、土の成分、水分量などを知ることができます。そのデータをもとに生産管理をします。農業は自然や天候に左右されますが、どのような条件時にどうすべきかなのか適切な対応ができるようになります。データ化することで発育の予測を行ったり、虫の発生や病気を未然に防ぐことができ、品質の向上につながります。

学園のトマトとキュウリハウスにも設置しています。見たことあるかな？

